

# 2019 教職員救命講習を実施しました！

【日時】 2019年10月15日（火）13時30分～15時00分

【場所】 柔道場

【講師】 明治国際医療大学 保健医療学部救急救命学科 助教 坂梨秀地先生  
助手 古元謙悟先生

心臓のリズムを電気ショックで元に戻す自動体外式除細動器（AED）を一般の人が使えるようになってこの7月で15年が経ちました。

日本 AED 財団によると、心臓突然死は年間約7万人にのぼるそうです。1分経つごとに救命率は10%下がるとされ、10分以上何も処置しないと、ほぼ全員が助かりません。119番するだけよりも、胸骨圧迫すると2倍、さらにAEDを使うともう2倍、救命率が上がるとされます。また、数分以内にAEDが使われると脳や心臓へのダメージが抑えられ、社会復帰できる可能性が高くなると言われています。

「**勇気で救える命がある**」\*何もしないと命は助かりません！「失敗」や「間違い」を恐れない。「放置」や「AED使用せず」が、むしろ問題になることも・・・

「**AED ためらわず使おう**」\*反応や呼吸が正常か分からない場合（あえぎ？死戦期呼吸！）は、迷わずAEDを使う。

「**路上でできたら“表彰もん”、校内でできなかつたら“責任もん”！？**」  
\*繰り返し学ぶことでいざという時に体が動きます。「毎年、救命講習を受講していましたか」「きっちりスキルアップしていましたか？」

スポーツ中の心停止を

救命する**3つの要素**

**目撃者 + 救助者 + AED**



今年の教職員救命講習会も、昨年度よりお願いしている明治国際医療大学 保健医療学部救急救命学科 助教 坂梨秀地先生にご担当いただき、「**人の命を救う AED の使用と心肺蘇生法の講習**」に加えて「**A+フィラキシーショックとエピペンの使用についての講習**」を実施いたしました。

参加者 45 名で受講し、実践に向けたトレーニングを行いました。

やはり現場経験・専門知識ともに豊富な坂梨先生の講習は、実践的なお話も多くかつ非常に興味深く、わかりやすい内容で、とても充実したものになりました。

AED 設置場所の周知徹底・確認、救急隊員が来るまでの対応 etc のシミュレーションの必要性などを再確認しました。

## 緊急時対応計画とは

- \* AED の配置
- \* 連絡体制
- \* 熱中症予防(WBGT の測定)
- \* スタッフ・関係者への教育

